



太陽の下

シリーズ～神の知恵～

2019/3/10

神の秩序について

- 神の秩序とは
 - 勸善懲悪・因果応報・努力は報われる…
- 3つの見方
 - 箴言：一定の信頼性を保って守られている
 - コヘレトの言葉：壊れている(乱れている)
 - ヨブ記：人間には隠されている
- コヘレトの言葉の見方
 - 「太陽(天)の下」=神のいない世界
 - ・ 「太陽の下」27回、「天の下」3回
 - ・ コヘレトは「**思想実験**(神はいないと仮定したらどうなるか)」をしている

「太陽の下」

- **太陽の下**、人は労苦するが／すべての労苦も何になろう。1: 3
- **太陽の下**、新しいものは何ひとつない。1:9
- わたしは**太陽の下**に起こることをすべて見極めたが、見よ、どれもみな空しく、風を追うようなことであった。1:14
- わたしは顧みた／この手の業、労苦の結果のひとつひとつを。
…**太陽の下**に、益となるものは何もない。2:11
- **太陽の下**に起こることは、何もかもわたしを苦しめる。どれもみな空しく、風を追うようなことだ。2: 17
- **太陽の下**、更にわたしは見た。裁きの座に悪が、正義の座に悪があるのを。3:16
- 神に与えられた短い人生の日々に、飲み食いし、**太陽の下**で労苦した結果のすべてに満足することこそ、幸福で良いことだ。それが人の受けるべき分だ。5:17
- **太陽の下**に起こるすべてのことの中で最も悪いのは、だれにでも同じひとつのことが臨む…その後は死ぬだけだということ。
9:3

太陽の下の**労苦**は空しい

人間が太陽の下で心の苦しみに耐え、労苦してみても何になろう。一生、人の務めは痛みと悩み。夜も心は休まらない。これまた、実に空しいことだ。(コヘレト2:23)

- **どう生きようと同じである 3/5**
 - 「太陽の下での命がすべてであるなら、人生を人助けに費やそうと、殺人に費やそうと、結局のところ同じなのです。」TK
- **この世の努力は全く無駄である！ 3/6**
 - 何一つ達成することはできず、忘れ去られる
 - 労働は「痛みと悩み」をもたらし、「墮落した世界での労働への呪いとして私たちの心を傷つけ続けます。」TK

太陽の下の**快樂**は空しい

わたしはこうつぶやいた。「快樂を追ってみよう、愉悅に浸ってみよう。」見よ、それすらも空しかった。(2:1)

- **労苦に見切りをつけて快樂を求め**
 - スポーツ・飲食・博打・テレビ・ネット・スマホ・ゲーム……
- **快樂も空しい**
 - お金と時間をつぎ込むが、結局何も達成せず、全く無駄な浪費であったことに気づく
 - 「皮肉なことに、深い喜びと満足感を得るために、この世の物事に目を向ければ向けるほど、あなたはそれらを得ることができずにイライラすることになります」(支配される！)

太陽の下の**知識**は空しい

わたしは太陽の下に起こることをすべて見極めたが、見よ、どれもみな空しく、風を追うようなことであった。(1:14)

- **快樂に見切りをつけて知識を求める**
 - この世の出来事を知的に理解し、解決しようと努めた(科学・技術)
- **知識(科学)も空しい**
 - 「私たちは人間の問題を単なる技術と知識で修復することはできません」TK
 - 「私たちの前には、超自然的で靈的な方法によらなければ解決しない超自然的で靈的な問題が横たわっています」TK

太陽の下の倫理(宗教)は空しい

何事も同じで／同じひとつのことが善人にも悪人にも良い人にも清い人にも不浄な人にも…(9:2)

- 知識に見切りをつけて倫理を求める
 - 倫理的に正しく生きることで幸せを目指した
- 倫理(宗教)も空しい
 - 「コヘレトは、善人と悪人、宗教的な人と非宗教的な人について描いており太陽の下では同じ運命が全ての人に起こると公平に結論づけています」TK

人生は無意味なのか？

コヘレトは言う。なんという空しさ／なんという空しさ、すべては空しい。(1:2)

- 神を認めない世界は空っぽであり空しい
 - 「思想実験」の結果、何をしても「太陽の下」では無意味であることをコヘレトは確認した
- 「太陽の上」=神を認めて生きる
 - 「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。苦しみの日々が来ないうちに。」12:1
- 与えられた時を楽しむ
 - 「神に与えられた短い人生の日々に、飲み食いし、太陽の下で労苦した結果のすべてに満足することこそ、幸福で良いことだ。それが人の受けるべき分だ。」5:17(3:12,3:22,7:14,8:15,9:9,,)

コヘレトの人生観

- 私たちは神の秩序が壊れた世界にいる
 - 「クリスチャンでさえ『**虚無に服して(価値のない世界に)**』いる(ローマ8:18以降)」TK
- アドバイス1: **暗い日々**に圧倒されない
 - 「長生きし、喜びに満ちているときにも／**暗い日々も多くあろうことを忘れないように**」11:8
- アドバイス2: **楽しんで**も潔白を保つ
 - 「若者よ、お前の若さを喜ぶがよい。青年時代を楽しく過ごせ。心にかなう道を、目に映るところに従って行け。知っておくがよい／**神はそれらすべてについて／お前を裁きの座に連れて行かれると。**」11:9

本物の空しさを味わわれた方

十字架上でイエスが「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれた時、イエスはご自分の人生には神がないという宇宙規模の無意味さを味わっておられました。イエスは私たちが受けるはずの呪いを受けておられたのです。イエスが、私たちの命が受けるはずだった無限の無益さを受けられたことにより、私たちは神によって赦され受け入れられました。イエスを信じる信仰によって神が中心におられる生活を送ることができるようになりました。TK

祈り

主よ、コヘレトはあなたが私のすべての希望であり、かつ唯一の希望であることを認めるように痛切に私を挑発します。太陽より上に私の目を向けることができますように。いつもそれを覚えておけますように助けてください。いつかあなたはすべてのことを正しくされます。そしてそれまで何も完全に正しいことはありません。アーメン。